

平成22年度第1回 横浜市立市民病院市民委員会 次第

平成22年7月28日（水）19時～

がん検診センター4階 講堂

1 開会

2 病院長挨拶

3 議事

(1) 平成21年度決算状況について [資料1] P.1

(2) 平成22年度の取組について [資料2] P.13

(3) 平成21年度満足度調査の結果について

[資料3] P.17

(4) 「横浜市立病院経営委員会」の経過報告について

[資料4] P.21

(5) その他

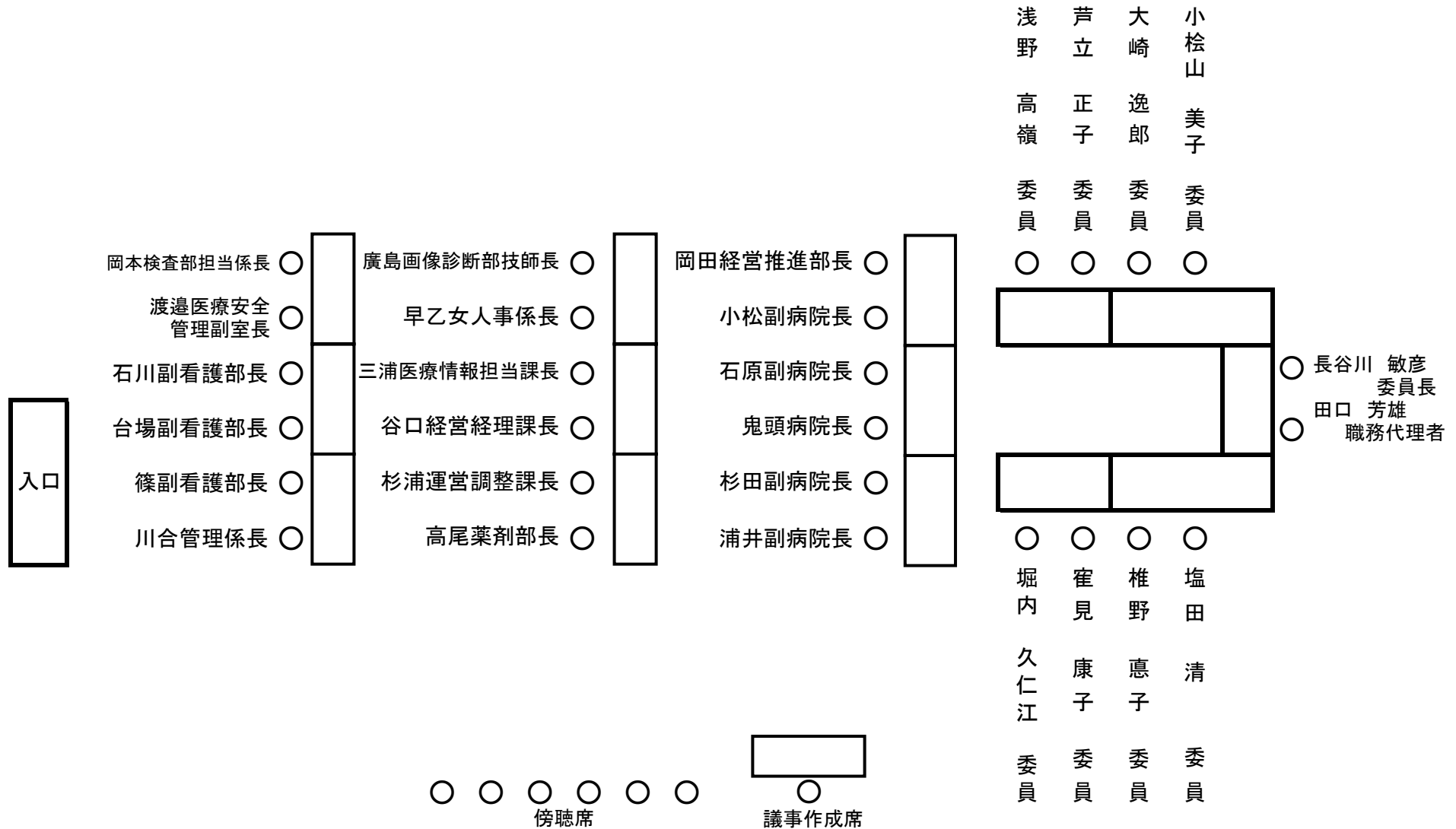
4 閉会

平成22年度 横浜市立市民病院市民委員会委員名簿

氏 名		役 職 等
委員長	はせがわ としひこ 長谷川 敏彦	日本医科大学 医療管理学教室 主任教授
職務代理者	たぐち よしお 田口 芳雄	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 病院長
	あさの たかね 浅野 高嶺	保土ヶ谷区医師会長
	あしだて まさこ 芦立 正子	神奈川区保健活動推進員 三ツ沢地区会長
	おおさき えつろう 大崎 逸朗	神奈川県立病院機構 理事長
	こびやま よしこ 小桧山 美子	社会福祉法人秀峰会 訪問看護サービス副事業部長
	しおた きよし 塩田 清	保土ヶ谷区中央東部地区連合町内会 会長
	しいの とくこ 椎野 憲子	ボランティア会ランパス 代表
	つるみ やすこ 窪見 康子	新戸塚病院 看護部長
	ほりうち くにあ 堀内 久仁江	神奈川区医師会長

平成22年度第1回市民委員会 席次表

平成22年7月28日(水)
がん検診センター4階 講堂



横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料
平成22年7月2日
病院経営局経営経理課長
谷口 尚三 TEL: 331-1249

平成21年度 横浜市病院事業会計決算（速報）

この決算値は速報であり、監査委員の審査を経て市会へと上程され、認定を受けた後に確定します。

市立病院の経常収支が改善

～市民病院：約4億円の経常黒字を達成～

市立病院の経常収支の状況

(単位:億円)

	21年度	20年度	増減額
市民病院	3.9	△0.6	4.5
脳血管医療センター	△11.8	△13.7	1.9
2病院合計	△7.9	△14.3	6.4

(指定管理者による運営)

みなと赤十字病院	△15.0	△15.4	0.4
----------	-------	-------	-----



市民病院は経常収支が4.5億円改善した結果、前年度の経常赤字から経常黒字に回復しました。脳血管医療センターの経常収支も1.9億円改善しました。

指定管理者が運営するみなと赤十字病院は、21年度より利用料金制を導入しております。

市民病院

○経常収支黒字回復(4.5億円の収支改善)

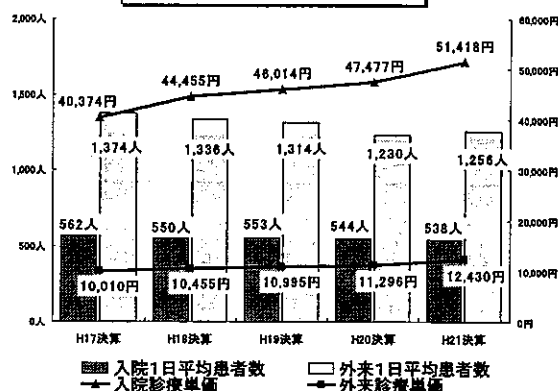
急性期病院として重症の患者さんを積極的に受け入れ、高度な医療を多く提供したことにより診療収入等の収益が増加しました。一方で医師・看護師の増員により給与費等の費用も増加しましたが、収益の増加が上回ったことにより、前年度の6千万円の経常赤字から4億5千万円収支が改善し、3億9千万円の経常黒字となりました。

市民病院 収支概要

(単位:億円)

	21年度	20年度	差引	備考(主な増減理由)
経常収益	160.0	150.5	9.5	
うち 入院収益	100.9	94.3	6.6	1人1日あたり
外来収益	37.8	33.8	4.0	診療単価の増加
一般会計繰入金	12.2	13.8	△1.6	対象経費の減少
経常費用	156.1	151.1	5.0	
うち 給与費	85.6	83.2	2.4	医師・看護師等の増員
材料費	37.6	34.8	2.8	薬品、診療材料の使用量増
経常収支	3.9	△0.6	4.5	

入院・外来収益指標の推移



○緩和ケア病棟のオープン

市民病院のがん診療機能向上の一環として、がん患者さんなどの療養環境の向上を図るための「緩和ケア病棟」を21年5月1日に開設しました。

○救命救急センターの指定(指定日:H22.4.1)

さらなる救急医療の充実に向けて、より重症な救急患者さんを積極的に受け入れるため、救急重症患者用病床の整備や救急外来診療スペースの改修を行い、神奈川県知事から救命救急センター※の指定を受けました。

※救命救急センター

より高度で特殊・専門医療が必要な重症救急患者を24時間体制で受け入れる三次救急医療施設

脳血管医療センター

○経常収支の改善(1.9億円の収支改善)

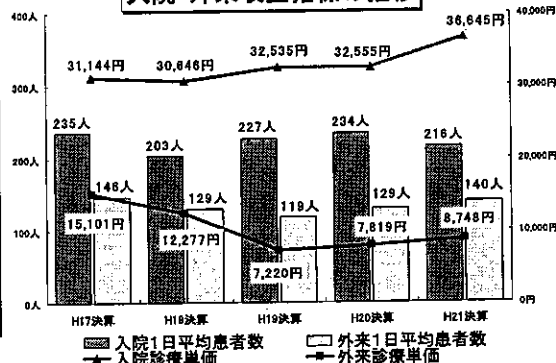
脳卒中ケアユニット(SCU)※の設置や入院直後のリハビリテーションの実施など、急性期医療の充実を図ったことにより、入院収益などが増加しました。また、給与改定による人件費の減や委託業務の見直しによる経費の減などにより、前年度に比べ経常収支が1.9億円改善しました。

脳血管医療センター 収支概要

(単位:億円)

	21年度	20年度	差引	備考(主な増減理由)
経常収益	57.0	60.8	△3.8	
入院収益	28.8	27.8	1.0	1人1日あたり
外来収益	2.9	2.4	0.5	診療単価の増加
一般会計繰入金	28.4	29.0	△0.6	対象経費の減少
施設運営事業収益	0.0	4.4	△4.4	利用料金制導入による減少
経常費用	68.7	74.4	△5.7	
給与費	34.3	35.8	△1.5	給与改定による減少
経費等	12.8	13.2	△0.4	業務見直しによる減少
指定管理者交付金	0.0	4.4	△4.4	利用料金制導入による減少
経常収支	△11.7	△13.6	1.9	

入院・外来収益指標の推移



○脳卒中ケアユニット(SCU)の設置(12床)

脳血管疾患救急医療体制の充実の一環として、手厚い治療と看護を提供する「脳卒中ケアユニット(SCU)」を21年6月から段階的に開床し、10月から12床での運用を開始しました。

※脳卒中ケアユニット(SCU)

脳梗塞、脳出血又はくも膜下出血の急性期の患者さんに対して、専門の医療チームにより、手厚い医療を提供する病床

みなと赤十字病院(指定管理者:日本赤十字社)

みなと赤十字病院は指定管理者が運営する市立病院です。21年度からは、利用料金制※を導入し、指定管理者が病院の運営収益を直接収受する仕組みになりました。そのため横浜市の会計では、前年度と比較して収益・費用ともに大幅に減少しましたが、経常収支額は前年度とほぼ同額となっています。

(単位:億円)

経常収支の状況	21年度	20年度	差引
経常収益	16.2	138.3	△122.1
経常費用	31.2	153.7	△122.5
経常収支	△15.0	△15.4	0.4

※利用料金制

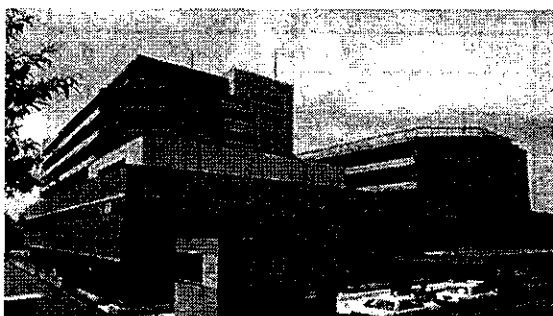
指定管理者制度を導入している公の施設の利用料金について、自治体ではなく指定管理者が直接収受する制度

(参考) みなと赤十字病院患者数

(単位:人)

	21年度	20年度	差引
入院患者数	197,015	176,880	20,135
1日平均患者数	540	485	55
外来患者数	248,217	237,045	11,172
1日平均患者数	1,026	975	51

平成21年度 横浜市病院事業会計決算速報 【資料編】



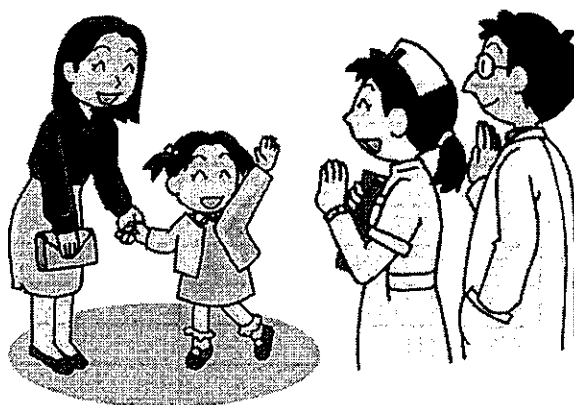
市民病院



みなと赤十字病院



脳血管医療センター



平成22年7月

横浜市病院経営局

病院概要及び経営指標

○市民病院

病 床 数 650床（一般病床：624床 感染症病床：26床）

併 設 施 設 がん検診センター

主な経営指標	21年度	20年度	増△減
入 院			
延入院患者数（人）	196,305	198,629	△ 2,324
うち新入院患者数（人）	15,196	14,485	711
1日平均患者数（人）	538	544	△ 6
入院単価（円）	51,418	47,477	3,941
平均在院日数（日）	13.0	13.7	△ 0.7
病床利用率（％）	82.7	83.7	△ 1.0
外 来			
延外来患者数（人）	303,833	299,008	4,825
うち初診患者数（人）	30,141	29,342	799
1日平均患者数（人）	1,256	1,230	26
外来単価（円）	12,430	11,296	1,134
そ の 他 の 指 標			
救急患者数（人）	20,894	19,960	934
うち救急車搬送数（人）	6,779	7,358	△ 579
うち入院患者数（人）	4,862	4,561	301
手術件数（件）	4,812	4,807	5

○脳血管医療センター

病 床 数 300床（一般病床：300床（うち回復期リハビリ病床：91床））

併 設 施 設 介護老人保健施設（指定管理者：社会医療法人ジャパンメディカルライズ）

主な経営指標	21年度	20年度	増△減
入 院			
延入院患者数（人）	78,689	85,515	△ 6,826
うち新入院患者数（人）	1,648	1,505	143
1日平均患者数（人）	216	234	△ 18
入院単価（円）	36,645	32,555	4,090
平均在院日数（日）	47.0	57.0	△ 10.0
病床利用率（％）	71.9	78.1	△ 6.2
外 来			
延外来患者数（人）	33,818	31,328	2,490
うち初診患者数（人）	2,599	2,665	△ 66
1日平均患者数（人）	140	129	11
外来単価（円）	8,748	7,819	929
そ の 他 の 指 標			
救急患者数（人）	1,292	1,313	△ 21
うち救急車搬送数（人）	787	748	39
うち入院患者数（人）	847	837	10
手術件数（件）	237	168	69

市民病院事業 比較損益計算書

(単位 円)

	21年度	20年度	増△減	増減率(%)
市民病院事業収益	16,007,473,967	15,049,120,950	958,353,017	6.4
医業収益	15,088,885,236	14,065,435,996	1,023,449,240	7.3
入院収益	10,093,627,535	9,430,272,829	663,354,706	7.0
外来収益	3,776,639,948	3,377,661,444	398,978,504	11.8
がん検診収益	373,098,673	355,904,400	17,194,273	4.8
室料差額収益	236,449,200	221,375,763	15,073,437	6.8
一般会計繰入金	609,069,880	680,221,560	△ 71,151,680	△ 10.5
医業外収益	918,588,731	983,684,954	△ 65,096,223	△ 6.6
一般会計繰入金	609,844,145	696,015,933	△ 86,171,788	△ 12.4
国・県補助金	81,251,000	81,618,000	△ 367,000	△ 0.4
その他	227,493,586	206,051,021	21,442,565	10.4

	21年度	20年度	増△減	増減率(%)
市民病院事業費用	15,613,117,109	15,112,072,372	501,044,737	3.3
医業費用	15,376,306,571	14,742,724,137	633,582,434	4.3
給与費	8,554,769,486	8,321,938,251	232,831,235	2.8
材料費	3,760,181,004	3,483,001,274	277,179,730	8.0
うち薬品費	2,434,710,723	2,266,225,370	168,485,353	7.4
うち診療材料費	1,183,181,832	1,082,565,290	100,616,542	9.3
経費等	2,266,427,812	2,369,573,496	△ 103,145,684	△ 4.4
うち光熱水費	321,293,648	368,991,657	△ 47,698,009	△ 12.9
うち委託料	1,332,154,789	1,309,093,163	23,061,626	1.8
減価償却費等	794,928,269	568,211,116	226,717,153	39.9
医業外費用	236,810,538	369,348,235	△ 132,537,697	△ 35.9
支払利息等	175,662,837	278,729,147	△ 103,066,310	△ 37.0
その他	61,147,701	90,619,088	△ 29,471,387	△ 32.5

病院経営局本部の運営にかかる費用を、各費目に含めて表示しています。

当年度純損益	394,356,858	△ 62,951,422	457,308,280	—
うち経常損益	394,356,858	△ 62,951,422	457,308,280	—

脳血管医療センター事業 比較損益計算書

平成21年度より介護老人保健施設において利用料金制を導入したため、施設運営事業収益及び指定管理者への交付金は計上されません。

(単位 円)

	21年度	20年度	増△減	増減率(%)
脳血管医療センター事業収益	5,698,447,350	6,079,624,250	△ 381,176,900	△ 6.3
医業収益	3,501,715,022	3,421,244,016	80,471,006	2.4
入院収益	2,883,522,509	2,783,911,754	99,610,755	3.6
外来収益	295,831,942	244,945,262	50,886,680	20.8
室料差額収益	73,692,229	95,284,000	△ 21,591,771	△ 22.7
一般会計繰入金	248,668,342	297,103,000	△ 48,434,658	△ 16.3
医業外収益	2,145,649,328	2,169,370,345	△ 23,721,017	△ 1.1
一般会計繰入金	1,984,677,055	2,003,863,663	△ 19,186,608	△ 1.0
県補助金	454,000	517,000	△ 63,000	△ 12.2
その他	160,518,273	164,989,682	△ 4,471,409	△ 2.7
介護老人保健施設収益	51,083,000	489,009,889	△ 437,926,889	△ 89.6
施設運営事業収益	-	436,885,622	△ 436,885,622	皆減
一般会計繰入金	25,083,000	26,124,000	△ 1,041,000	△ 4.0
指定管理者負担金	26,000,000	26,000,000	-	0.0
その他	-	267	△ 267	皆減

	21年度	20年度	増△減	増減率(%)
脳血管医療センター事業費用	6,874,000,197	7,446,082,664	△ 572,082,467	△ 7.7
医業費用	6,245,883,616	6,330,386,104	△ 84,502,488	△ 1.3
給与費	3,431,906,049	3,578,929,985	△ 147,023,936	△ 4.1
材料費	415,669,500	421,950,207	△ 6,280,707	△ 1.5
うち薬品費	199,261,171	198,067,246	1,193,925	0.6
うち診療材料費	132,754,687	137,183,555	△ 4,428,868	△ 3.2
経費等	1,281,923,764	1,324,435,608	△ 42,511,844	△ 3.2
うち光熱水費	218,721,327	258,412,072	△ 39,690,745	△ 15.4
うち委託料	849,515,656	896,719,910	△ 47,204,254	△ 5.3
減価償却費等	1,116,384,303	1,005,070,304	111,313,999	11.1
医業外費用	505,217,187	553,832,550	△ 48,615,363	△ 8.8
支払利息等	428,679,703	444,609,034	△ 15,929,331	△ 3.6
その他	76,537,484	109,223,516	△ 32,686,032	△ 29.9
介護老人保健施設費用	122,899,394	561,864,010	△ 438,964,616	△ 78.1
うち交付金	-	436,885,622	△ 436,885,622	皆減

病院経営局本部の運営にかかる費用を、各費目に含めて表示しています。

当年度純損益	△ 1,175,552,847	△ 1,366,458,414	190,905,567	-
うち経常損益	△ 1,175,552,847	△ 1,366,458,414	190,905,567	-

みなと赤十字病院事業 比較損益計算書

平成21年度より利用料金制を導入したため、入院収益などの診療収入及び当該収入に係る指定管理者への交付金は計上されません。(単位 円)

	21年度	20年度	増△減	増減率(%)
みなと赤十字病院事業収益	1,622,953,849	13,880,323,274	△ 12,257,369,425	△ 88.3
医業収益	317,958,162	12,488,451,357	△ 12,170,493,195	△ 97.5
入院収益	-	9,304,335,825	△ 9,304,335,825	皆減
外来収益	-	2,439,071,238	△ 2,439,071,238	皆減
室料差額収益	-	428,190,581	△ 428,190,581	皆減
一般会計繰入金	317,958,162	316,853,713	1,104,449	0.3
医業外収益	1,304,995,687	1,341,260,917	△ 36,265,230	△ 2.7
一般会計繰入金	628,763,416	644,876,033	△ 16,112,617	△ 2.5
国・県補助金	61,877,162	17,338,000	44,539,162	256.9
指定管理者負担金	587,909,000	587,909,000	-	0.0
その他	26,446,109	91,137,884	△ 64,691,775	△ 71.0
特別利益	-	50,611,000	△ 50,611,000	皆減

	21年度	20年度	増△減	増減率(%)
みなと赤十字病院事業費用	3,118,554,992	15,484,910,880	△ 12,366,355,888	△ 79.9
医業費用	2,136,894,161	14,368,901,442	△ 12,232,007,281	△ 85.1
経費	451,992,029	12,645,509,900	△ 12,193,517,871	△ 96.4
交付金	443,007,740	12,636,538,849	△ 12,193,531,109	△ 96.5
減価償却費等	1,684,902,132	1,723,391,542	△ 38,489,410	△ 2.2
医業外費用	981,660,831	1,000,490,482	△ 18,829,651	△ 1.9
支払利息等	862,272,168	881,101,819	△ 18,829,651	△ 2.1
その他	119,388,663	119,388,663	-	0.0
特別損失	-	115,518,956	△ 115,518,956	皆減

病院経営局本部の運営にかかる費用を、各費目に含めて表示しています。

当年度純損益	△ 1,495,601,143	△ 1,604,587,606	108,986,463	-
うち経常損益	△ 1,495,601,143	△ 1,539,679,650	44,078,507	-

収益及び費用の推移（17～21年度）

（単位：千円）

市 民 病 院	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
事業収益	14,435,557	14,833,331	15,228,981	15,049,120	16,007,474
医業収益	13,130,866	13,665,668	14,175,730	14,065,435	15,088,885
医業外収益	1,304,691	1,167,663	1,053,251	983,685	918,589
事業収益に含まれる一般会計繰入金	1,770,882	1,455,204	1,417,736	1,376,237	1,218,914
事業費用	14,322,703	14,892,148	15,533,549	15,112,072	15,613,118
医業費用	13,934,956	14,408,332	14,758,190	14,742,724	15,376,307
医業外費用	387,747	412,865	432,549	369,348	236,811
特別損失	0	70,951	342,810	0	0
経常収支	112,854	12,134	38,242	△ 62,952	394,356
純利益・純損失	112,854	△ 58,817	△ 304,568	△ 62,952	394,356

脳血管医療センター	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
事業収益	6,066,810	5,479,788	5,869,923	6,079,625	5,698,448
医業収益	3,575,522	3,030,796	3,296,696	3,421,244	3,501,716
医業外収益	2,153,667	2,151,901	2,154,684	2,169,371	2,145,649
介護老人保健施設収益	337,621	297,091	418,543	489,010	51,083
事業収益に含まれる一般会計繰入金	2,397,500	2,404,495	2,348,877	2,327,091	2,258,429
事業費用	7,315,801	6,764,762	7,155,356	7,446,083	6,874,000
医業費用	6,704,695	6,150,691	6,093,660	6,330,386	6,245,884
医業外費用	611,106	606,250	563,191	553,833	505,217
介護老人保健施設費用	-	-	498,505	561,864	122,899
特別損失	0	7,821	0	0	0
経常収支	△ 1,248,991	△ 1,277,153	△ 1,285,433	△ 1,366,458	△ 1,175,552
純利益・純損失	△ 1,248,991	△ 1,284,974	△ 1,285,433	△ 1,366,458	△ 1,175,552

みなと赤十字病院	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
事業収益	10,063,701	12,700,784	13,766,991	13,880,323	1,622,954
医業収益	9,047,277	11,654,526	12,416,126	12,488,452	317,958
医業外収益	1,016,424	1,046,258	1,350,865	1,341,260	1,304,996
特別利益	0	0	0	50,611	0
事業収益に含まれる一般会計繰入金	1,321,123	1,296,710	961,941	1,012,341	946,721
事業費用	11,950,002	14,559,330	15,326,170	15,484,911	3,118,555
医業費用	10,932,440	13,539,442	14,314,317	14,368,902	2,136,894
医業外費用	1,017,562	1,019,888	1,011,853	1,000,490	981,661
特別損失	0	0	0	115,519	0
経常収支	△ 1,886,301	△ 1,858,546	△ 1,559,179	△ 1,539,680	△ 1,495,601
純利益・純損失	△ 1,886,301	△ 1,858,546	△ 1,559,179	△ 1,604,588	△ 1,495,601

一般会計繰入金の状況

平成21年度は病院事業に対して、一般会計から67億円が繰出されました。救急医療・感染症医療などの政策的医療等に対する繰入金として収益的収入に44億円、企業債の償還財源となる繰入金として資本的収入に23億円を計上しました。

(単位：千円)

		21年度	20年度	増△減
市民病院		1,601,537	1,710,178	△ 108,641
	収益的収入 (政策的医療等への繰入金)	1,218,914	1,376,237	△ 157,323
	資本的収入 (企業債残高償還への繰入金)	382,623	333,941	48,682
脳血管医療センター		2,844,129	2,899,957	△ 55,828
	収益的収入 (政策的医療等への繰入金)	2,258,429	2,327,091	△ 68,662
	資本的収入 (企業債残高償還への繰入金)	585,700	572,866	12,834
みなと赤十字病院		2,223,250	1,554,987	668,263
	収益的収入 (政策的医療等への繰入金)	946,721	1,012,341	△ 65,620
	資本的収入 (企業債残高償還への繰入金)	1,276,529	542,646	733,883
合計		6,668,916	6,165,122	503,794
	収益的収入 (政策的医療等への繰入金)	4,424,064	4,715,669	△ 291,605
	資本的収入 (企業債残高償還への繰入金)	2,244,852	1,449,453	795,399

○収益的収入：当該年度の経営活動に伴う期間損益計算上の収入（事業収益）

○資本的収入：投下資本の増減関連取引上の収入（固定資産取得の財源となる収入など）

企業債未償還残高は、貸借対照表上の「資本の部」に計上されており、その償還財源となる繰入金は、収益的収入ではなく、資本的収入として繰り入れます。

参考

横浜市病院事業 貸借対照表

平成22年3月31日

(単位 円)

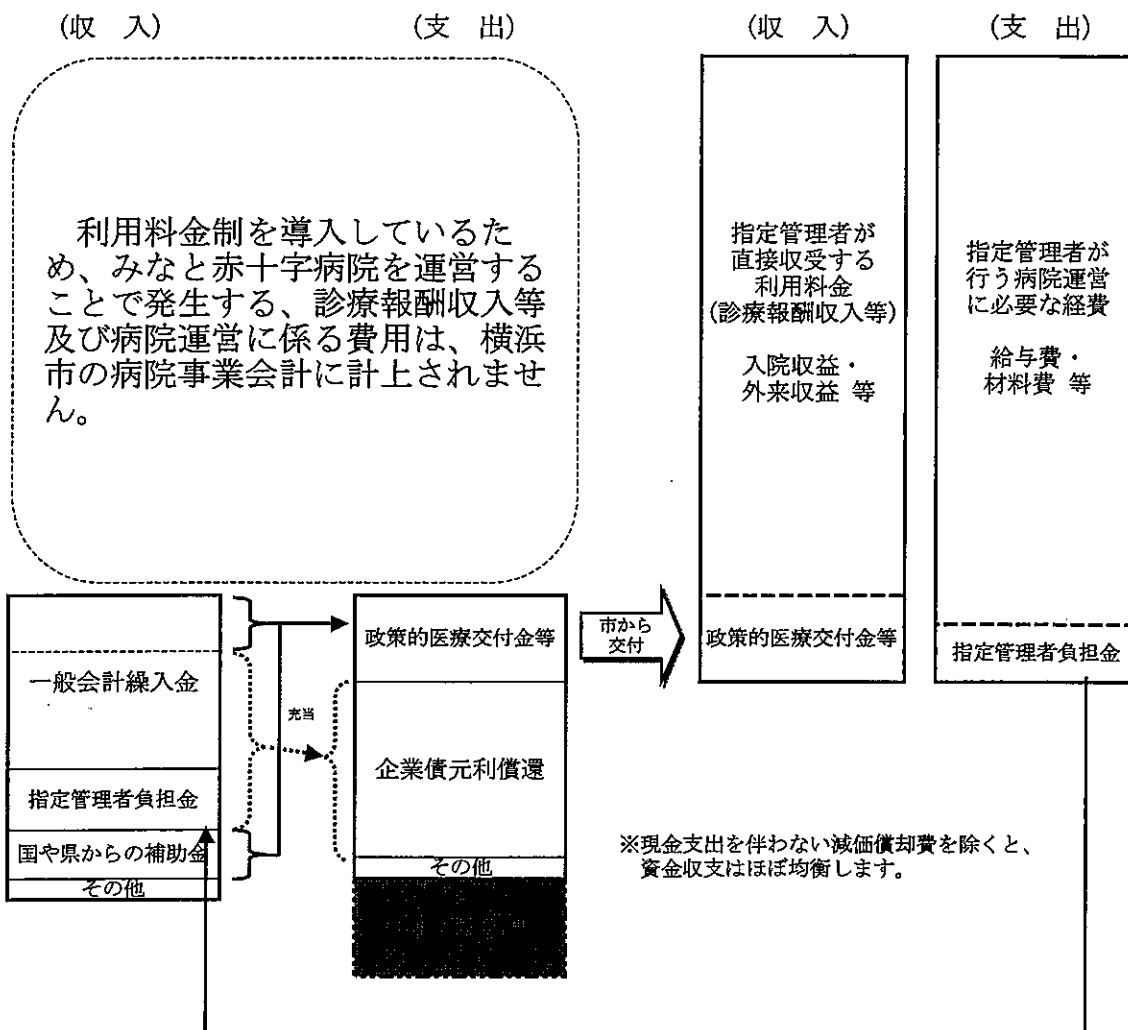
	21年度	20年度	増△減
資産の部	80,983,596,238	87,762,425,080	△ 6,778,828,842
固定資産	75,378,274,878	78,597,163,230	△ 3,218,888,352
有形固定資産	74,537,702,090	77,560,084,606	△ 3,022,382,516
土地	15,907,750,524	15,907,750,524	-
建物	55,326,472,770	57,956,627,288	△ 2,630,154,518
その他	3,303,478,796	3,695,706,794	△ 392,227,998
無形固定資産	835,984,788	1,032,490,624	△ 196,505,836
事業投資	4,588,000	4,588,000	-
流動資産	4,090,332,490	7,455,206,394	△ 3,364,873,904
現金・預金	1,033,295,795	1,664,340,352	△ 631,044,557
未収金	2,820,816,393	5,588,482,307	△ 2,767,665,914
貯蔵品	199,876,801	176,721,908	23,154,893
その他	36,343,501	25,661,827	10,681,674
繰延勘定	1,514,988,870	1,710,055,456	△ 195,066,586
資産合計	80,983,596,238	87,762,425,080	△ 6,778,828,842

	21年度	20年度	増△減
負債の部	2,276,800,822	6,199,723,655	△ 3,922,922,833
流動負債	2,276,800,822	6,199,723,655	△ 3,922,922,833
未払金	2,232,014,648	6,158,039,977	△ 3,926,025,329
預り金ほか	44,786,174	41,683,678	3,102,496
資本の部	78,706,795,416	81,562,701,425	△ 2,855,906,009
資本金	102,126,938,482	102,929,804,802	△ 802,866,320
自己資本金	30,331,977,365	28,312,247,365	2,019,730,000
借入資本金	71,794,961,117	74,617,557,437	△ 2,822,596,320
剰余金	△ 23,420,143,066	△ 21,367,103,377	△ 2,053,039,689
資本剰余金	12,614,027,749	12,387,725,749	226,302,000
欠損金	△ 36,034,170,815	△ 33,754,829,126	△ 2,279,341,689
負債・資本合計	80,983,596,238	87,762,425,080	△ 6,778,828,842

みなと赤十字病院の収支の仕組み（利用料金制）

横浜市の病院事業会計

指定管理者
日本赤十字社の会計



横浜市立市民病院22年度の主な取組（予定）項目

1 地域がん診療連携拠点病院としての取組

昨年度に引き続き、地域の医療機関関係者を対象とした緩和ケア研修会の実施（8月）を実施するほか、22年度は5大がん（肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん）について、地域連携クリティカルパスの策定し、地域医療機関と連携したがん診療を推進してまいります。

2 新型インフルエンザ対策

昨シーズンの新型インフルエンザ大流行への対応を踏まえ、患者受入対策の検討や研修・訓練の実施などに取り組んでまいります。

3 救急医療の充実

4月から三次救急を担う「救命救急センター」として、より重症患者の積極的な受け入れに取り組んでまいります。

4 周産期医療

周産期医療の充実のため、産婦人科医師の増員により分べん件数の増加を目指すほか、地域母子医療センターとして、周産期救急患者の受け入れ等に取り組んでまいります。

5 患者満足度・職員満足度の向上

医師等の医療職員の確保等により、職員の満足度の向上を図り、患者さんの満足度向上に繋げてまいります。

6 環境整備

診療機能充実のため、CT・血管造影撮影装置（アンギオ）等の更新を行うとともに、これらの機器の配置見直しによる機器の集中化に取り組んでまいります。

7 安定した経営

急性期病院としての機能の発揮や診療報酬改定への的確な対応により収益の確保を図り、21年度に引き続き安定した経営（経常収支の黒字）を目指してまいります。

平成 22 年度 病院経営局 運営方針

基本目標

- ・ 政策的医療や高度・先進医療など、質の高い医療を継続的・安定的に提供し、市民の安全・安心を守ります。
- ・ 広く市民や医療機関を対象とした、予防・啓発活動や、安全管理などの先進的取組を通じて、地域医療全体の質向上に貢献するため、公立病院として先導的な役割を果たします。
- ・ 引き続き徹底した経営改善に取り組み、自立した経営を目指します。

目標達成に向けた施策・運営

市民病院

- ・ 地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関として、がん診療などの強みとなる医療を地域医療機関と連携し推進します。
- ・ 本年指定を受けた「救命救急センター」としての救急医療、周産期医療、小児医療、災害医療の充実を図ります。
- ・ 必要な医師の確保等による職員の負担軽減や環境整備等により職員が満足する病院運営を行うことで、患者満足度向上に繋がります。

脳血管医療センター

- ・ 脳血管疾患専門病院として、急性期から回復期まで一貫した質の高い医療の提供に努めます。
- ・ 地域の保健・医療機関との連携を推進し、脳血管疾患の予防に積極的に取り組むなど、地域医療全体の質向上を図ります。
- ・ 質の高い医療を継続的に提供するために、経営の健全化を目指します。

みなと赤十字病院

- ・ 本市との協定に基づき、指定管理者である日本赤十字社が引き続き、救急医療やアレルギー疾患等の政策的医療を提供するとともに、本市として指定管理業務の点検・評価を実施します。

病院事業全体

- ・ 経営委員会の諮問事項のうち、「脳血管医療センターの経営改善」「新たな経営形態の検討」について委員会から出される一定の方向性をもとに、検討を進めます。
- ・ 医療人材の確保に努め、より一層充実した医療提供体制の整備を図ります。

目標達成に向けた姿勢

①患者本位の医療

インフォームドコンセントの実践など、患者本位の医療提供に努めます。

②質の高い医療提供

エビデンスに基づいた、質の高い医療の提供に努めます。

③組織横断的な取組

チーム医療の充実やプロジェクトの活用など、組織横断的な取組を実施します。

④人材育成の支援

職員の自己研鑽の意識を支援するため、研修会の開催やスキルアップのための資格取得の促進に努めます。

⑤データに基づいた病院運営

経営及び臨床にかかる指標を充実し、根拠に基づいた病院運営を目指します。

⑥地域医療連携の充実

地域に必要とされる政策的医療を提供する公立病院としての役割を果たすため、地域医療機関との連携を促進します。

主な事業・取組

1 市民病院

【主な事業・取組】

- 患者満足度向上
- 地域がん診療連携拠点病院としてがん診療体制の充実
- 救命救急センターとして救急医療体制の充実
- 感染症指定医療機関としての役割発揮
- 産科・小児科医療の実施
- 安定した経営
- 医療情報提供・啓発活動の強化
- 職員満足度向上

【指標】

- ⇒入院患者満足度(86.0%以上)、外来患者満足度(78.0%以上)
- ⇒地域連携クリティカルパスの素案策定(関係医療機関調整:通年)、緩和ケア研修会(8月までに開催)
- ⇒救急車搬送による入院件数(2,400件)
- ⇒研修会・訓練の実施(通年)
- ⇒分べん件数(900件)、小児科医師数(11人)、産科医師数(9人)
- ⇒経常収支の均衡、入院診療単価(55,500円)、手術件数(5,000件)
- ⇒クリニカルインディケーター(公表版の検討:通年)
- ⇒看護師離職率(10.0%以下)、職員満足度(40.0%以上)

2 脳血管医療センター

【主な事業・取組】

- 患者満足度向上
- 脳卒中救急医療体制における役割発揮
- 予防事業の推進
- 経営の健全化
- 診療体制の充実
- リハビリテーション医療の充実
- 職員満足度向上

【指標】

- ⇒入院患者満足度、外来患者満足度(どちらも90.0%以上)
- ⇒t-PA実施件数(18件)、救急車受入件数(1,000件)
- ⇒予防事業参加者数(3,500人)、脳ドック実施件数(400件)
- ⇒資金収支の早期均衡化、入院診療単価(42,000円)、初診患者数(2,800人)
- ⇒診療・治療内容等臨床データの策定、クリティカルパスの拡充による診療・治療内容の標準化の推進(通年)
- ⇒リハビリテーション開始日(入院後3日以内)
- ⇒看護師離職率(10.0%以下)、職員満足度(50.0%以上)

3 病院事業全体

【主な事業・取組】

- 経営委員会における検討
- 医療人材の確保

【指標】

- ⇒「横浜市立脳血管医療センターの経営改善」「市立病院の持続可能な新たな経営形態の検討」について一定の方向性(22年夏ごろ)
- ⇒医師の確保・定着にむけた増員・負担軽減策の検討(計画策定)、導入
- ⇒看護師の多様な勤務体制(二交代等)の導入拡大
- ⇒看護師確保策の充実(国家試験対策講座等採用内定者へのフォロー等)

入院患者さん満足度調査結果報告

資料3

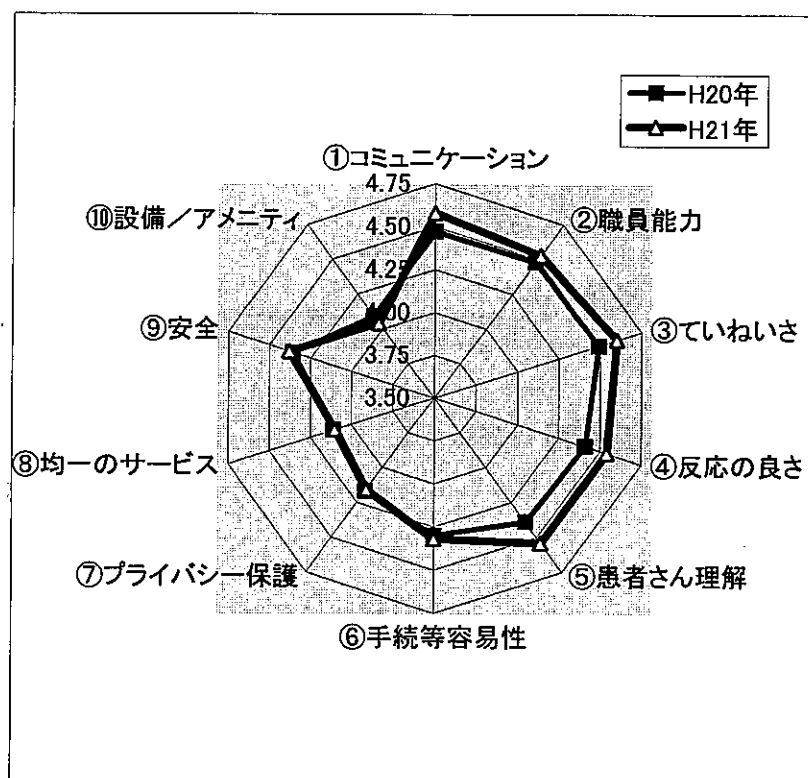
当院では、平成21年10月に患者さん満足度調査を実施いたしました。ご協力いただいた患者さん、ご家族の皆さんにお礼を申し上げます。ここに、調査結果の一部について、ご報告させていただきます。

■実施期間………平成21年10月5日～10月30日

■回答数………382件

1)総合的な設問

医療サービスとして重要な10項目について伺いました。①コミュニケーション、②職員能力、③ていねいさ、④反応の良さ、⑤患者さん理解の5項目は、全国標準と比較しても10段階で7～8という高い評価をいただいていることがわかりました。また10項目中、7項目については、昨年調査から患者さんの評価が上がったということもわかりました。職員の取り組みや努力を患者さんに評価していただけたことを大変うれしく思います。



- ①コミュニケーション…医師や職員は、聞き取りやすく、わかりやすい言葉で説明しましたか
- ②職員能力…医師や職員は、必要な技術と知識を身につけていますか
- ③ていねいさ…医師や職員は、礼儀正しく、親切で、ていねいでしたか
- ④反応の良さ…医師や職員は、患者さんの希望をできる限り取り入れようとしたか
- ⑤患者さん理解…医師や職員は患者さんの気持ちを理解しようとしたか
- ⑥手続等容易性…入院前や入院中のさまざまな手続きはうまくいきましたか
- ⑦プライバシー保護…入院中のプライバシー保護は充分でしたか
- ⑧均一のサービス…院内のどこでも、どんな時でも同じようなサービスを受けることができましたか
- ⑨安全…入院中は安全に医療サービスが行われていると感じましたか
- ⑩設備／アメニティ…入院中の設備や環境は快適でしたか

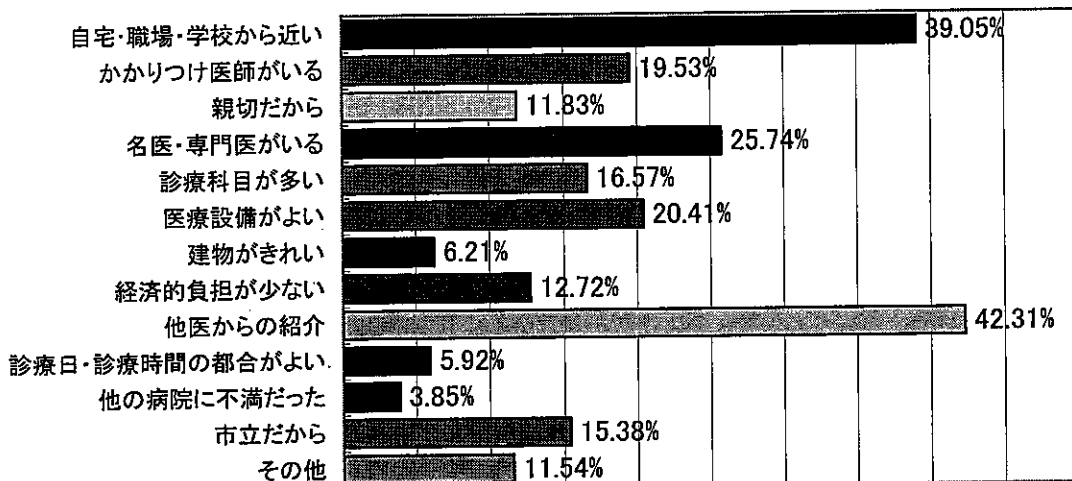
2) 患者さんの自由記述

改善点の記述を147件いただきました。病室やトイレ等水周り設備が使いにくい等のご意見をいただきました。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。良い点および特に改善された点の記述は合計で148件(良い点:112件、特に改善された点:36件)いただきました。職員の説明がよい。親切であるとの評価をいただきました。ありがとうございます。

3) 患者さんが当院を選ばれた理由

「自宅・職場・学校から近い」「他医からの紹介」という理由で、当院を選ばれている患者さんが多いことがわかります。

当院は、近隣のかかりつけ医から患者さんの紹介を受け連携を図るとともに、手術や高度医療の提供、救急医療の提供など、急性期医療を担う病院として、市民の皆さんがいざという時に、安心して受診できるように体制を整えてまいります。



<まとめ>

今回の調査を通じて、患者さんからいただきました評価、ご指摘、励ましを全職員で共有し、今後ともより良い病院づくりに取り組んでまいります。現在指定を受けています「地域医療支援病院」、「地域がん診療連携拠点病院」、また、本年4月に新たに指定を受けました「救命救急センター」として、地域連携の推進、がん診療機能の強化、救急医療体制の拡充に取り組んでまいります。患者さんにおかれましては、引き続きアンケート調査等へのご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。また、日常でもお気づきの点がありましたら、最寄のスタッフまでサービス向上へのアドバイスをいただければ幸いです。

横浜市立市民病院 病院長
サービス向上委員会

外来患者さん満足度調査結果報告

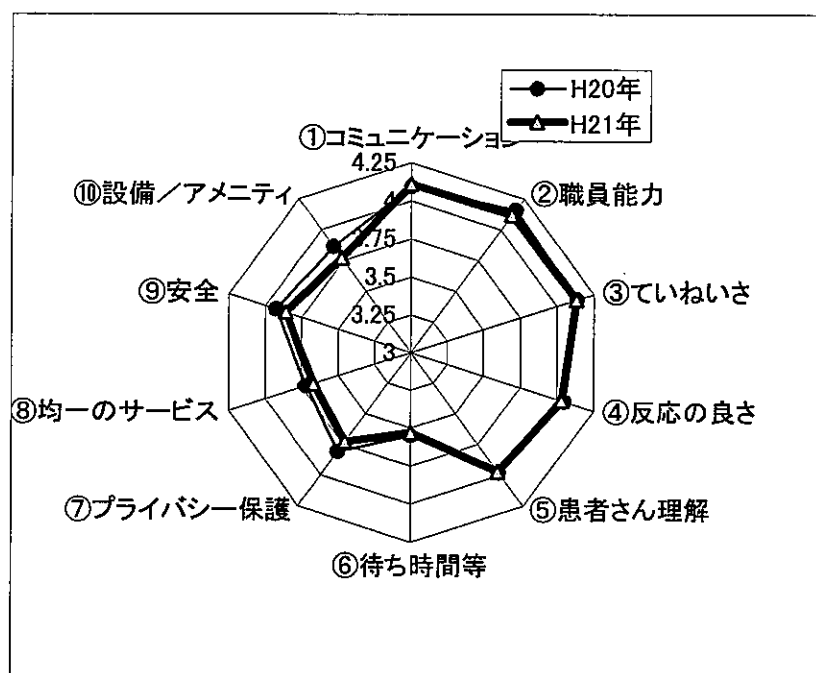
当院では、平成21年10月に患者さん満足度調査を実施いたしました。ご協力いただいた患者さん、ご家族の皆さんにお礼を申し上げます。ここに、調査結果の一部について、ご報告させていただきます。

■実施期間………平成21年10月14日、10月15日

■回答数………788件

1) 総合的な設問

医療サービスとして重要な10項目について伺いました。①コミュニケーション、②職員能力、③ていねいさの3項目は、全国標準と比較しても10段階で7という高い評価をいただいていることがわかりました。職員の取り組みや努力を患者様に評価していただけたことを大変うれしく思います。



①コミュニケーション…医師や職員は、聞き取りやすく、わかりやすい言葉で説明しましたか

②職員能力…医師や職員は、必要な技術と知識を身につけていますか

③ていねいさ…医師や職員は、礼儀正しく、親切で、ていねいでしたか

④反応の良さ…医師や職員は、患者さんの希望をできる限り取り入れようとしたか

⑤患者さまの理解…医師や職員は患者さんの気持ちを理解しようとしたか

⑥待ち時間等…電話対応、診療まで、検査まで、会計までなどの待ち時間は許容の範囲ですか

⑦プライバシー保護…院内のプライバシー保護は充分でしたか

⑧均一のサービス…院内のどこでも、どんな時でも同じようなサービスを受けることができましたか

⑨安全…院内では安全に医療サービスが行われていると感じましたか

⑩設備/アメニティ…院内の設備や環境は快適でしたか

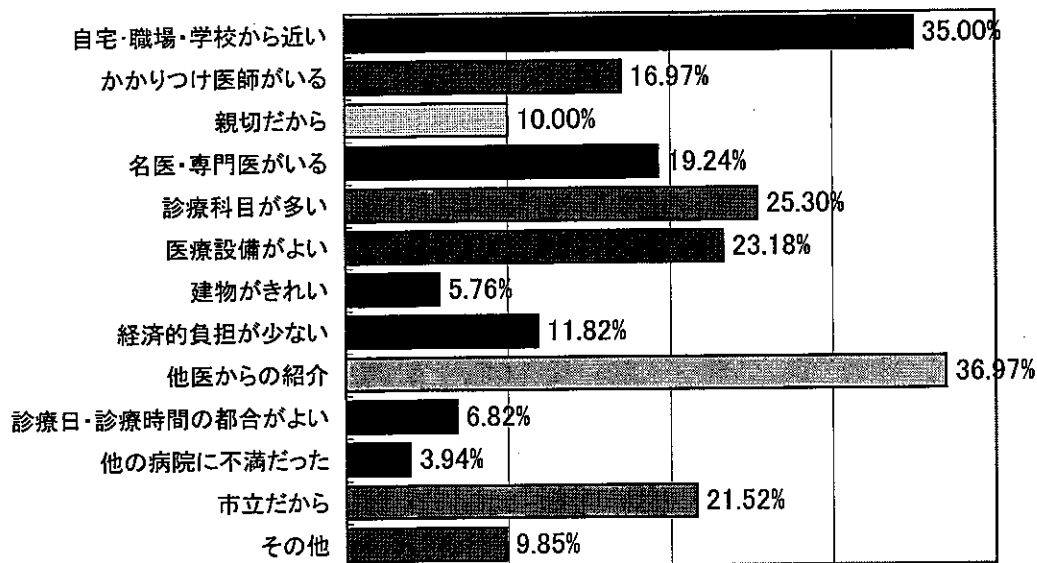
2) 患者さんの自由記述

改善点の記述を194件いただきました。予約したのに待ち時間が長い等のご意見をいただきました。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。良い点および特に改善された点の記述は合計で171件(良い点:98件、特に改善された点:73件)いただきました。職員の説明がよい、わかりやすい、親切である等の評価をいただいております。ありがとうございます。

3) 患者さんが当院を選ばれた理由

「自宅・職場・学校から近い」、「他医からの紹介」という理由で当院を選ばれている患者さんが多いことがわかります。

当院は、近隣のかかりつけ医から患者さんの紹介を受け連携を図るとともに、手術や高度医療の提供、救急医療の提供など、急性期医療を担う病院として、市民の皆さんがいざという時に、安心して受診できるように体制を整えてまいります。



<まとめ>

今回の調査を通じて、患者さんからいただきました評価、ご指摘、励ましを全職員で共有し、今後ともより良い病院づくりに取り組んでまいります。現在指定を受けています「地域医療支援病院」、「地域がん診療連携拠点病院」、また、本年4月に新たに指定を受けました「救命救急センター」として、地域連携の推進、がん診療機能の強化、救急医療体制の拡充に取り組んでまいります。患者さんにおかれましては、引き続きアンケート調査等へのご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。また、日常でもお気づきの点がありましたら、最寄のスタッフまでサービス向上へのアドバイスをいただければ幸いです。

横浜市立市民病院 病院長
サービス向上委員会

資料 4

■「横浜市立病院経営委員会」開催状況

	日時	開催場所	議事
第1回	平成21年6月30日 18:30～20:30	横浜市長 脳血管医療センター 2階会議室	1 委員長の選出 2 諮問 3 横浜市内医療提供体制及び 市立病院の現状について 4 意見交換 5 その他
第2回	平成21年10月14日 17:00～19:45	横浜市長市民病院 がん検診センター 4階講堂	1 横浜市長脳血管医療センターの 経営改善 2 市立病院の持続可能な新たな 経営形態の検討 3 その他
第3回	平成22年1月12日 17:00～18:45	産業貿易センター 7階720号室	1 横浜市長脳血管医療センターの 経営改善 2 その他
第4回	平成22年3月24日 10:00～12:00	関内中央ビル 10階大会議室	1 横浜市長脳血管医療センターの 経営改善 2 市立病院の持続可能な新たな 経営形態の検討 3 その他
第5回	平成22年6月23日 15:00～16:30	ワークピア横浜 2F「おしどり」	1 中間取りまとめ(案)の検討 2 その他

横浜市立病院経営委員会

委員長

横浜市病院事業管理者 原 正道

横浜市立病院の経営状況の点検・評価 及び
経営に係る基本的な課題の検討について（諮問）

次の事項について貴委員会の御意見を承りたく、次の事項を諮問します。

- 1 「横浜市立病院中期経営プラン」の実施状況の点検・評価
- 2 市立病院の経営に係る基本的な課題の検討
 - (1) 横浜市立脳血管医療センターの経営改善
 - (2) 市立病院の持続可能な新たな経営形態の検討
 - (3) 市立病院の将来的な役割
 - (4) 横浜市立市民病院の老朽化・狭あい化対策

〔 諮問理由等 〕

横浜市では平成 15 年 3 月に出された「横浜市市立病院あり方検討委員会」の答申を受け、港湾病院は公設民営、市民病院及び脳血管医療センターは地方公営企業法の全部適用により市立病院の経営を行う方針を決定しました。17 年 4 月には地方公営企業法全部適用の実施に伴い病院経営局を設置し、あわせて新たに整備した港湾病院については日本赤十字社を指定管理者とする「みなと赤十字病院」として開院し、経営改善に取り組んでまいりました。

一方で、脳血管医療センターについては 17 年 8 月にまとめられた「横浜市立脳血管医療センター医療機能検討会議」の報告書を受けて、従来どおり、救急医療及び急性期医療についても提供するという横浜市の方針を決定し、現在に至っています。

しかしながら、現在の病院経営を取り巻く環境は、更に厳しさが増しており、特に公立病院については、「公立病院改革ガイドライン（19 年 12 月総務省通知）」が公表されたこともあり、全国的にあり方そのものが問い直されています。本市の市立病院においても同様の状況にあります。

そこで、21 年 3 月に「横浜市立病院中期経営プラン（21～23 年度）」を策定し、同プランに基づき引き続き着実な経営改善に取り組むとともに、今後の病院経営を見据え、抜本的な経営改善や当面の課題を検討する必要がある、これらについて外部の有識者からなる横浜市立病院経営委員会に諮問することといたしました。

答申の時期については、1 の「横浜市立病院中期経営プラン」の実施状況の点検・評価については、21・22・23 年度の各年度終了後をお願いします。

また、市立病院の経営に係る基本的な課題のうち、2 の（1）横浜市立脳血管医療センターの経営改善と（2）市立病院の持続可能な新たな経営形態の検討については先行して議論していただき、22 年の夏ごろに一定の方向性を出すようお願いいたします。（3）市立病院の将来的な役割と（4）横浜市立市民病院の老朽化・狭あい化対策については、23 年の夏ごろをお願いします。

委員名簿

氏 名	現 職
いし い たか よし 石 井 孝 宜	石井公認会計士事務所 所長
い と う ま さ はる 伊 藤 雅 治	社団法人 全国社会保険協会連合会 理事長
いま い みつ お 今 井 三 男	社団法人 横浜市医師会 会長
た な か しげる 田 中 滋 (委 員 長)	慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授
つじ もと よし こ 辻 本 好 子	特定非営利活動法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長
まつ ばら ゆ み 松 原 由 美	株式会社 明治安田生活福祉研究所 主任研究員

(五十音順・敬称略)